

1人1台端末の活用による実践事例

学校名	岡山県立水島工業高等学校		
実践者等	上田 恵律子	実践日	令和3年5月～
実践場面 (教科・科目、学校行事等)	工業化学科2年実習		
対象生徒(学年等)	工業化学科2年		
単元名 (教科・科目の場合のみ)	工業試験(セメント分析)		
使用したアプリ等	スプレッドシート、スライド、Meet		
実践の概要(ねらい等)	スプレッドシートを使用し、実験値データの共有 スライドとMeetを利用した遠隔授業への対策		

実践の内容

① スプレッドシートを使用し、実験値データをその場で共有した。実習中は編集のみ可能になり、1つのファイルを複数人同時に編集できる。

【メリット】生徒はすぐに他生徒の実験データを共有することができ、自身のデータと比較ができた。教員もデータをすぐに複数人分をまとめて見ることができるので、説明や解説に時間を割くことが可能。

実験後は、「編集可能」から「閲覧のみ」にして、レポートの参考資料として活用させた。

セメントの採取量 (g)			
空秤量瓶	セメント+秤量瓶	セメント	
35.4863	35.9395	0.4532	
43.520	43.942	0.422	
35.9413	36.4209	0.480	
43.5214	44.0617	0.5403	
42.6803	43.1970	0.517	
42.6772	43.1193	0.4421	
43.0700	43.606	0.536	
42.298	42.846	0.558	
24.8503	25.3912	0.5409	
41.9895	42.4583	0.4688	

空るつぼの質量 (g)			
1回目	2回目	3回目	4回目
34.5149	34.5147		

② Meet を活用し、スライドを映して授業を説明した。全体の説明中はマイクを OFF にしてスライドを見させながら説明を行い、ノートを書かせた。

【メリット】説明後はスライドを「閲覧のみ」できるようにしているので、説明で分からない生徒は繰り返し見返すことができる。ノートも空いた時間にまとめることができる。

【改善点】Meet を使用しているのので、カメラ機能を OFF にするかスライドの画面をスポットにすることを徹底する必要がある。



今後は、実習の手順などを②の方法を活用する（スライドに写真や図を入れる）ことができれば、説明でわからない生徒もスライドを見てできるようになると考えている。

参考となる HP 等